



㊦ しっかりかんがえ ㊦ もいやりのある ㊦ んななかよし 潮見っ子

光る海 21号



令和5年10月6日

校長 惣田 正宏



ホームページ

10月になりました。来週からは「寒露の頃」となります。

今週から10月となり、早や1週間が経とうとしています。先週末は中秋の名月で、きれいな満月を家族で眺めたご家庭も多いのではないのでしょうか。月曜日に、「校長先生、月が本当にきれいだったですね。タブレットで写真を撮りました。」と報告してくれる子もいました。こういう会話は嬉しいものですね。

さて、朝夕は気温が下がり、半袖では少し寒さを感じるようになりました。長袖で登校する児童も増えてきました。ただ、昼間は25℃を超える日もあり、半袖でないと暑さを感じます。衣服で調節することが大切ですね。来週10月8日前後からは、早くも暦の上では「寒露の頃」となり、草木に冷たい露が降り、秋が深まる季節となります。一層、一日の中での寒暖の差が大きく、日によっても暑い日、寒い日が繰り返されます。大切な行事に、体調を崩して参加できないことがないように、体調の管理等、ご協力をよろしくお願いします。



英語の授業が楽しくないます！ ようこそ北川先生

2学期になって、毎週のように国際理解指導員の北川先生に英語の指導・支援に入っています。25日は3年・5年・6年生に入ってもらいました。

6年生は、例文「I ate curry and rice.」（私はカレーライスを食べました。）をもとに、カレーライスのところいろいろな食べ物に変えて、英文を作る活動をしました。5文作り友達に「What did you eat?」と聞きます。自分が選んだ食べ物を、いくつ友達が言ってくれるか競いました。楽しそうに英語のやり取りができていたようです。北川先生のネイティブな英語に合わせて、動作化のゲームでも盛り上がりました。過去形や書く活動もあり、楽しみながらも内容は難しくなっているなと感じました。



英語のシャワー！ Fun English Camp

5日3校時、8名の外国の方々が潮見小学校に来校されました。佐世保市の事業で、子供たちが外国の方々とふれ合い、「英語のシャワー」を浴びることで「英語に親しむ」ことを目的とした活動です。

4年生と一緒に英語を使ったアクティビティを楽しみました。4つの班に分かれ、それぞれ「数字」「色」「野菜・果物」「動物」のカードを使って、英語による指示や会話を読み取りながら、楽しくゲームをしました。上手にのせられながら笑顔でアクティビティをする子供たち。とても楽しそうでした。



英語の授業が楽しくないます！ ようこそハドック先生

年に数回、ALTのシェーン・ハドック先生にも来てもらっています。26日は2回目！4～6年生と2年生に入ってもらいました。2年生の授業を参観しました。2年生は、英語の授業はないのですが、アイルランドから来たハドック先生と触れ合い、自分の話した言葉が通じた喜びは、とても嬉しいようです。自己紹介でハドック先生と会話し、とても喜んでいました。ハドック先生の自己紹介では「私はどこの国から来たでしょう？」の質問に、「アイルランド」という国の名前、その場所を当てることに苦戦していました。でもアイルランドの紹介やハドック先生の好きなものを写真で紹介されると、目をキラキラ、歓声を上げながら反応していました。



入賞おめでとう！（子ども県展の表彰）

28日、中休みに表彰をしました。手違いで渡せずにいた昨年度の「子ども県展」の表彰状を渡すことができました。関係の先生方にも集まっていただき、みんなで「おめでとう」を言うことができました。今年度も、夏休み・2学期とさまざまな絵画コンクールに挑戦しているようです。入賞は、その子だけでなくみんなの励みにもなります。また、嬉しいお知らせをみんなで喜びたいと思います。

【入賞者の紹介】

2年 さかきばら りなさん
6年 中島 颯太 さん
6年 吉元あおいさん



読み聞かせ 3・4・6年生 9月22日・29日

15日の1・2年に続いて、22日は3・4年生に読み聞かせに入っていました。3年生は英語で書かれた絵本を4冊、4年生は、「ぼくのお風呂」という絵本の読み聞かせがありました。4年生は、面白いお風呂がどんどん出てきて、どんなお風呂だろう！と絵本の絵を必死に見ていました。29日は6年生でした。子供たちは読み聞かせをとてもしみにしています。



楽しい ひもひもワールド！ 9月22日

にぎやかな声が聞こえたので訪問してみると、3年生が図工の「ひもひもワールド」で、教室・廊下をひもだらけの世界にしていました。みんなで協力してやるものですが、それぞれにひもで作る世界があって、それが組み合わさって世界が広がっていました。どのようにつなぐか、つなぎ方を工夫する、ひもをつなぐ活動自体を楽しむ…。映画のミッションインポッシブルの世界観で、赤外線センサーに見立てて、触れないように動いている子もいました。こういう創作活動は楽しいですね。



第2回代表委員会 10月4日 潮見っ子フェスティバルを盛り上げよう！

本日6校時、第2回代表委員会が実施されました。議題は「潮見っ子フェスティバルを盛り上げよう」です。3年生以上の代表が参加し、出店を何にするのかや、どの教室を使うのか、ルールやお願いについて確認をしました。今回は、話し合いに参加していない児童も残り、普段掃除が徹底できない所を掃除するなど、ボランティアで学校のために頑張りました。



潮見小寄席(落語会)を開催 10月10日 三遊亭らっ好さんが来校！

昨年に引き続き、長崎県でただ一人(佐世保市出身)の落語家である三遊亭らっ好さんが潮見小学校に来てくださいます。手ぬぐいと扇子だけを使って、たくみにその世界へと誘う日本の伝統的な話芸です。子供にも分かりやすくした落語で、その素晴らしいさを存分に味わってほしいと思います。

○2校時 落語会 全学年で落語を楽しむ(体育館)

○3校時 5年生と交流 ○4校時 6年生と交流



校長の独り言⑥ 自立して「幸せな生活」を営んでいける力を共に育てたいものです。

最近配られた「長崎県PTA新聞」、表紙の下の欄に「さざなみ」という小さなコラムがありました。対馬市の仁田小学校PTA会長の手記が載せられています。「親がいなくなっても生活に困ることなく、その生涯を終えるまで精一杯生きてほしい。」という書き出しから始まります。そこには、子供たちが将来一人で生きていけるようになってほしい、自立した人間になってほしいという願いを強く感じました。私は、以前同じ対馬市の学校で教頭を4年間していました。だからこそ、対馬という風土、離島に住み、子供を育てる親の気持ちが少しはわかるような気がします。なぜなら、対馬で教頭として最初に理科を教えた6年生は、16名中15名が中学卒業と同時に島を離れました。将来の夢を叶えるためです。自立までの時間が短いのかもかもしれません。

また、校長の最初の赴任地は、佐世保市の黒島小中学校(義務教育学校)でした。ここでも3年間、中学校卒業と同時に島を離れる子供たちを、島の人たちと一緒に見送りました。黒島には高校がないので、島外の高校に通うため島を離れるのです。それを島の教師は、「15の春」と呼んでいました。15までに自立した人間に育てたいという思いが強かったように思います。当時、黒島は400名余りの島民が住んでいましたが、毎年必ず100名ぐらいの人が集まって盛大な見送りをしました。その華やかさの中で、親はどのような気持ちで、我が子を見送っていたのでしょうか。将来の夢を叶えるために15で親元を離れる…。私が出会ったその子供たちは、それが定めであり、それを受け入れ、それまでにたくましく成長します。親も愛情をたっぷり注ぎながら、その力を育てます。学校も保護者・地域の願いを受けて、子供との深い愛情と信頼関係を基盤に、生涯にわたって「幸せな生活」を営んでいけるような「生きる力」の基礎を身に付けさせようと努力します。15は早すぎますが、いずれ親元を巣立ちます。自立して「幸せな生活」を営んでいける力を共に育てたいものです。